

令和5年度 第45回大麻旗争奪高校生剣道大会 試合要領

- (1) 全日本剣道連盟試合・審判規則、同細則、全国高体連剣道専門部申し合わせ事項、全剣連コロナ感染拡大予防ガイドラインに定める暫定的な試合審判法に則って行う。
- (2) 男女ともに予選リーグを実施し、4校リーグにおいては上位2校、3校リーグにおいては上位1校がトーナメントに進出する。
- (3) 試合時間は4分。試合時間内に勝敗が決しない場合は、引き分けとする。ただし、代表者戦において、試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に1本取ったものを勝ちとする。
延長戦の試合時間は、4分とする。延長戦が継続する場合は、延長戦2回ごとに「休息」・「休憩」を交互に繰り返す。
 - ア 勝敗の決するまで延長戦を継続する場合、延長戦2回ごとに「休息」と「休憩」を交互に繰り返すが、主審は試合者の疲労度等を観察し、さらに休息等の措置が必要と判断したら、「止め」を宣告し深呼吸等の措置をとることができるものとする。
「休息」・・・立礼の位置まで下がらせて深呼吸させる。試合再開までは1分程度を目途とする。
「休憩」・・・選手を選手席に戻し、面を外させて給水させる。試合再開まで4分程度を目途とする。審判員も一度審判席に戻る。
 - イ 予選リーグにおける引分けの際は、その都度勝負を決定せずにリーグ終了後下記の順で勝敗を決め、また代表戦を行う。
 - (ア) チームの勝ち点による。(勝ち3点、分け1点、負け0点)
 - (イ) 勝者数による
 - (ウ) 総本数による
 - (エ) 上記(ア)から(ウ)までで順位が決定しない場合は、代表者戦によるリーグ順位決定戦を以下の要領で行いリーグの1位・2位を決定する。
 - A 代表者戦の対戦順は予選リーグ時の対戦順とする。ただし、1位・2位チームが決定した後の試合は行わないものとする。
 - B 代表選手は選手の安全面等に配慮し、代表者戦ごとに変更することを可とする。
 - C 礼法については、代表者戦1巡目のみ当該の試合に出場した5人を整列させて行い、2巡目に入った場合は代表選手のみ礼とする。
 - D 審判はリーグ戦時における当該の審判員が行う。
 - ウ 代表者戦の選手は、当該の試合に出場した先鋒から大将までの5人の選手から選出する。ただし、補欠と交代した選手の再出場は認めない。代表者戦は一本勝負とする。